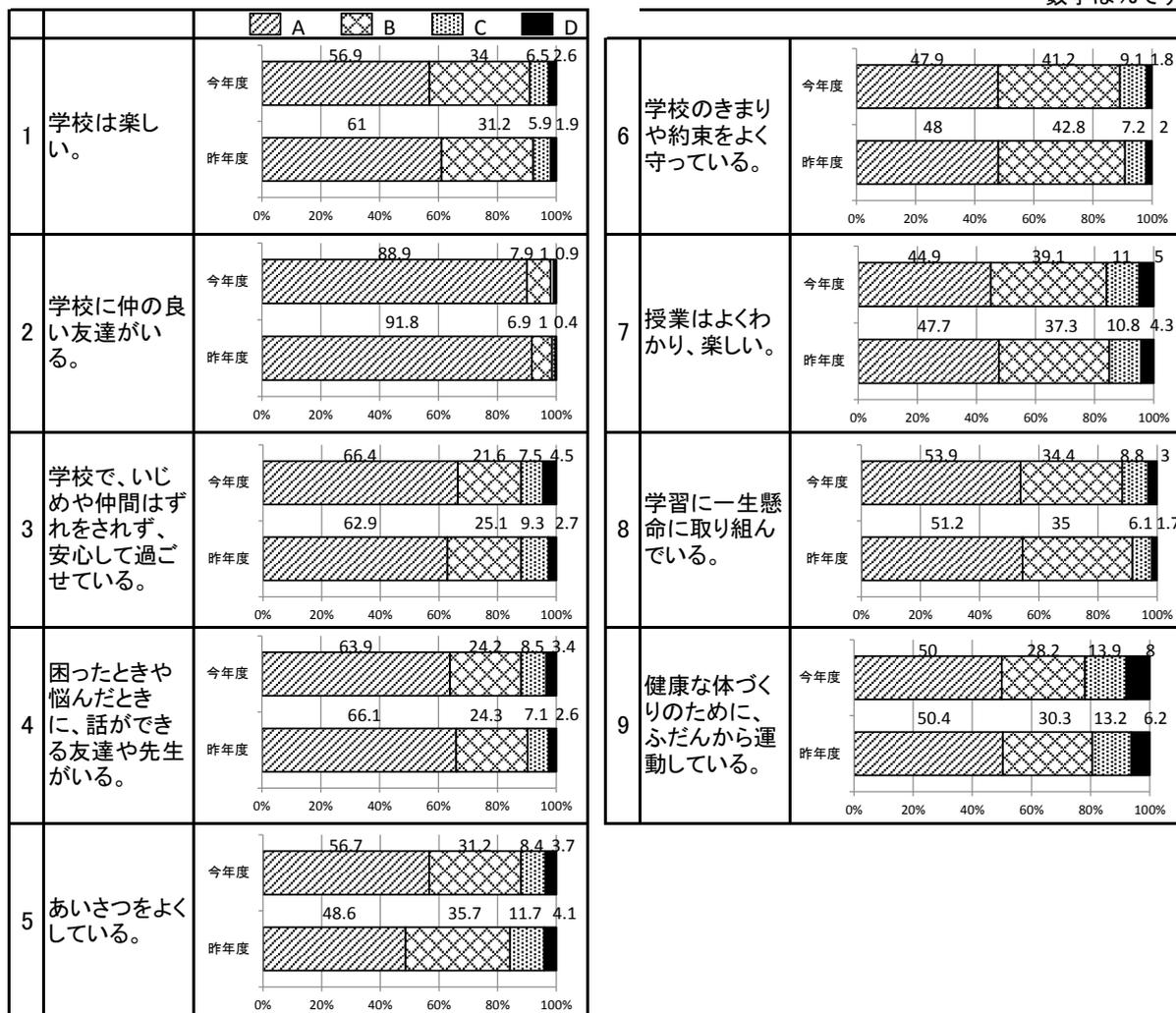


令和2年度 学校評価 児童アンケート 集計結果

A そう思う B だいたいそう思う C あまりそう思わない D 思わない

数字は%です



今年度の結果について

3 学校で、いじめや仲間はずれにされず、安心して過ごさせている

この項目は、A評価が昨年度に比べると上がりました。行事や校外学習等が変更・延期・中止になる中、教室で友だちと話す・交流する時間が増えたことで、相手を知る・認めることがより強くできたと感じています。反面、臨時休業が明けた後、学校の生活リズムがつかめなかったり友だち関係で悩んだりしている児童もいて、項目1や2ではA評価が下がりました。今年度の状況はこれまでの学校生活ではなかったことですが、教職員皆で児童の様子を見守り、どの児童も安心して過ごせる学校を目指してまいります。

5 あいさつをよくしている

この項目は、児童のA評価は上がりましたが、保護者や地域の方のA評価は下がりました。登校時の昇降口や教室など決められた場所ではあいさつができていますので評価が高かったようですが、登下校中にお会いした保護者や地域の方、来校された方にあいさつができていないという実感があります。また、校内で外部の方とお会いすることがほぼなく、あいさつをする機会がありませんでした。折に触れてあいさつの声かけをしていますが、まだまだの状況がみられます。今後も進んであいさつができるよう、地域・家庭・学校が連携して取り組んでいきたいと思ひます。

8 学習に一生懸命取り組んでいる

この項目は、A評価が昨年度に比べると上がりました。臨時休業期間中の課題を休業明けに確認・復習後、新学年の学習内容に取り組んできました。そして、担任だけでなく、学年や専科担当とも連携して児童の学習を支援してきました。また、後期からは教員の指導力向上を目指して校内の授業研究を計画的に行っています。これらのことが子ども達の学習に向かう姿勢にもつながってきたと感じています。しかし、C・D評価の児童や7の項目の結果にも連動する点がありますので、その事実をしっかり受け止め、子ども達に基礎基本の学力が身につけられるよう努力していきます。